



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月8日

上場会社名 カメイ株式会社
コード番号 8037 URL <https://www.kamei.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 亀井昭男
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 遠藤忠章
四半期報告書提出予定日 2024年2月8日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 022-264-6112

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	411,687	4.9	10,772	9.3	11,793	7.7	6,875	2.2
2023年3月期第3四半期	392,571	17.4	9,855	24.0	10,951	19.4	7,031	45.4

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 12,725百万円 (7.3%) 2023年3月期第3四半期 13,720百万円 (99.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	204.62	
2023年3月期第3四半期	209.27	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	326,322	155,444	45.3	4,395.91
2023年3月期	307,556	144,299	44.6	4,079.60

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 147,703百万円 2023年3月期 137,076百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		18.50		22.00	40.50
2024年3月期		22.00			
2024年3月期(予想)				22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年3月期の期末配当金の内訳 普通配当20円00銭 記念配当2円00銭

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	551,000	0.0	14,000	10.4	15,200	8.8	9,200	7.4	273.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	37,591,969 株	2023年3月期	37,591,969 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	3,991,851 株	2023年3月期	3,991,538 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	33,600,349 株	2023年3月期3Q	33,600,528 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、ウクライナ情勢による原材料価格の高騰や世界的な金融引締めの影響が続くなか、中東情勢の緊迫化などにより先行き不透明な状況が続いております。

国内経済においても、不安定な国際情勢の影響や円安による物価の上昇が続いており厳しい状況となりました。

このような環境のなか、当社グループは、「地域社会に密着し、人々の生活に役立つ総合商社として活動発展することをめざす。」という企業理念のもと、お客様の多様なニーズに的確にお応えするため、新商材・新事業の開発に積極的に取り組むとともに、各種商材の提案営業を強力に推進しました。

また、グループの総合力向上と経営基盤を強化し将来にわたる持続的な成長を図るため、新規顧客獲得を推進するとともに人的資本経営やM&Aによる事業領域の拡大に積極的に取り組み、Nagatoshi Produce USA, LLC（現Nagatoshi Produce Co., Ltd.：米国において青果の卸販売を展開）を当社グループに迎え入れ、海外・貿易事業の強化を図りました。

さらに、2050年までのカーボンニュートラルの実現に向けて、バイオマス原料から作られる次世代バイオディーゼル燃料「サステオ」や、製造から燃焼までに排出されるCO₂をオフセットする「カーボンニュートラルLPガス」などの販売を開始いたしました。

以上の結果、売上高は自動車関連事業や海外・貿易事業の伸長などにより4,116億87百万円（前年同期比4.9%増）、営業利益は107億72百万円（前年同期比9.3%増）、経常利益は117億93百万円（前年同期比7.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、のれんの減損損失などにより68億75百万円（前年同期比2.2%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①エネルギー事業

当事業部門における石油関係につきましては、構造的な石油製品需要の減少が続く厳しい販売環境のなか、新規・深耕開拓に努めるとともに、CO₂削減需要に対応すべく食料との競合や森林破壊を起こさないバイオマス原料から作られる次世代バイオディーゼル燃料「サステオ」の取り扱いを開始いたしました。

LPガス関係につきましては、新規顧客獲得やM&Aによる商権買収に努めるとともに、LPガスの原料採取から燃焼までの全ての過程で排出されるCO₂を環境保全活動により創出されたカーボンクレジットでオフセットする「カーボンニュートラルLPガス」の提案やハイブリッド給湯器などの環境商材の販売を強化しました。

ガソリンスタンド関係につきましては、お客様のニーズにお応えするため、タイヤ・整備・洗車・コーティングなどトータルサービスの強化を図り、新規顧客獲得に努めました。また、店舗のリニューアルやカーコーティングプロショップの新規出店など、競争力の強化に努めました。

以上の結果、売上高は1,898億60百万円（前年同期比0.0%増）、営業利益は28億48百万円（前年同期比14.1%減）となりました。

②食料事業

当事業部門における食品関係につきましては、新規・深耕開拓や販売強化に努めたことなどにより畜産品や施設向け完全調理済み食品などの販売が増加し堅調に推移しました。

酒類関係につきましては、地酒などの差別化商品の販売強化や輸入ワインの取扱商品を拡充するとともに、新規・深耕開拓に努めたものの、販売競争の激化や円安による輸入価格の高騰などにより低調に推移しました。

以上の結果、売上高は276億85百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益は75百万円（前年同期比87.9%増）となりました。

③建設関連事業

当事業部門における建設事業関係につきましては、鉄骨工事が増加したものの、鋼材価格や労務費の上昇に伴う利益率の低下などにより厳しい状況となりました。

ハウジング関係につきましては、ハウスメーカー及び工務店への住宅設備機器の提案営業や、新規・深耕開拓に努めたものの、やや厳しい状況となりました。

以上の結果、売上高は449億93百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益は9億84百万円（前年同期比53.9%減）となりました。

④自動車関連事業

当事業部門における国産車販売につきましては、半導体供給不足の緩和により生産台数が回復するなか、法人営業の強化に努めたことなどにより販売台数が伸長し好調に推移しました。

輸入車販売につきましては、販売競争の激化などにより販売台数が減少し厳しい状況となりました。

レンタカー関係につきましては、法人客の新規・深耕開拓に努めたことや、レジャー・観光需要の回復などにより好調に推移しました。

以上の結果、売上高は577億20百万円（前年同期比29.8%増）、営業利益は35億13百万円（前年同期比82.3%増）となりました。

⑤海外・貿易事業

当事業部門における海外事業関係につきましては、米国内で展開する日系スーパーマーケットがロサンゼルスに新店舗をオープンしたことや、米国の青果卸販売会社をM&Aにより取得したことなどにより堅調に推移しました。

貿易事業関係につきましては、水産物の輸入やアジア向け二輪車用電装部品及び中国向けベアリングなどの輸出が増加したほか、海外ブランドシューズなどの販売が伸長したことにより順調に推移しました。

以上の結果、売上高は583億70百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益は35億52百万円（前年同期比20.8%増）となりました。

⑥ペット関連事業

当事業部門におけるペットフード・用品関係につきましては、自社ブランド商品の開発強化とホームセンターなどへの販路拡大に努めたことにより好調に推移しました。

園芸用品関係につきましては、自社ブランド除草剤・肥料の拡販や新規・深耕開拓を推進したことなどにより順調に推移しました。

以上の結果、売上高は109億69百万円（前年同期比8.0%増）、営業利益は3億9百万円（前年同期比209.8%増）となりました。

⑦ファーマシー事業

当事業部門につきましては、新型コロナウイルス感染症の5類移行により医療機関への受診抑制が緩和するなか、新規出店による店舗網の拡充効果や地域の皆様から選ばれる「かかりつけ薬剤師・薬局」への取り組みなどにより処方箋枚数が伸長し順調に推移しました。

以上の結果、売上高は143億85百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益は前年同期に比べて新規出店が減少し出店に伴う一時費用も減少したことなどにより2億86百万円（前年同期比349.1%増）となりました。

⑧その他の事業

その他の事業につきましては、オフィス機器販売、リース業、運送業及び保険代理店業などを展開しており、新規顧客の獲得や提案営業の強化に努めました。

以上の結果、売上高は77億1百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益は7億95百万円（前年同期比1.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は3,263億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ187億66百万円増加しました。これは主として、現金及び預金が72億85百万円、商品及び製品が61億32百万円、有形固定資産が36億39百万円、それぞれ増加したことによるものであります。

負債は1,708億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ76億21百万円増加しました。これは主として、季節的変動等により支払手形及び買掛金が57億68百万円増加したことによるものであります。

純資産は1,554億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ111億44百万円増加しました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が53億97百万円、為替レート変動の影響により為替換算調整勘定が37億41百万円、それぞれ増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は45.3%（前年連結会計年度末は44.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期連結の業績予想につきましては、2023年5月11日発表の予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,080	52,365
受取手形、売掛金及び契約資産	91,619	94,354
商品及び製品	28,772	34,904
仕掛品	3,240	3,610
原材料及び貯蔵品	616	507
その他	16,791	14,295
貸倒引当金	△218	△208
流動資産合計	185,902	199,830
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	63,372	64,876
減価償却累計額	△39,538	△40,962
建物及び構築物（純額）	23,834	23,913
土地	35,026	36,252
その他	73,966	79,657
減価償却累計額	△42,552	△45,909
その他（純額）	31,414	33,747
有形固定資産合計	90,274	93,914
無形固定資産		
のれん	1,274	1,344
顧客関連資産	2,470	2,250
その他	2,631	2,748
無形固定資産合計	6,376	6,343
投資その他の資産		
投資有価証券	16,949	19,261
その他	9,176	8,058
貸倒引当金	△1,123	△1,085
投資その他の資産合計	25,002	26,235
固定資産合計	121,653	126,492
資産合計	307,556	326,322

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	57,871	63,639
短期借入金	47,699	50,490
未払法人税等	2,671	992
賞与引当金	1,848	788
その他	19,708	21,037
流動負債合計	129,799	136,947
固定負債		
長期借入金	8,340	7,664
役員退職慰労引当金	152	63
退職給付に係る負債	2,448	2,477
資産除去債務	1,232	1,248
その他	21,281	22,476
固定負債合計	33,456	33,930
負債合計	163,256	170,878
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,132	8,132
資本剰余金	7,361	7,361
利益剰余金	116,514	121,912
自己株式	△4,228	△4,228
株主資本合計	127,780	133,177
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,972	4,445
繰延ヘッジ損益	0	4
土地再評価差額金	371	371
為替換算調整勘定	5,986	9,727
退職給付に係る調整累計額	△34	△24
その他の包括利益累計額合計	9,295	14,525
非支配株主持分	7,223	7,741
純資産合計	144,299	155,444
負債純資産合計	307,556	326,322

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	392,571	411,687
売上原価	332,763	348,176
金融収益	699	881
売上総利益	60,507	64,392
販売費及び一般管理費	50,651	53,620
営業利益	9,855	10,772
営業外収益		
受取利息	34	77
受取配当金	288	323
仕入割引	153	164
持分法による投資利益	180	149
その他	1,031	919
営業外収益合計	1,688	1,634
営業外費用		
支払利息	340	380
その他	253	232
営業外費用合計	593	613
経常利益	10,951	11,793
特別利益		
固定資産売却益	28	24
投資有価証券売却益	—	4
保険解約返戻金	148	—
その他	2	11
特別利益合計	179	40
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	74	59
投資有価証券評価損	102	—
減損損失	—	449
その他	2	5
特別損失合計	180	514
税金等調整前四半期純利益	10,951	11,319
法人税、住民税及び事業税	3,321	3,532
法人税等調整額	310	436
法人税等合計	3,631	3,969
四半期純利益	7,319	7,350
非支配株主に帰属する四半期純利益	288	475
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,031	6,875

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	7,319	7,350
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	309	1,566
繰延ヘッジ損益	△10	4
為替換算調整勘定	6,107	3,775
退職給付に係る調整額	3	14
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	14
その他の包括利益合計	6,400	5,374
四半期包括利益	13,720	12,725
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,431	12,121
非支配株主に係る四半期包括利益	288	603

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					
	エネルギー事業	食料事業	建設関連事業	自動車関連事業	海外・貿易事業	ペット関連事業
売上高						
外部顧客への売上高	189,778	27,257	44,038	44,473	55,987	10,157
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,062	1,271	151	121	234	0
計	191,840	28,529	44,190	44,595	56,222	10,158
セグメント利益	3,316	40	2,133	1,927	2,941	99

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ファーマシー事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	13,441	385,136	7,435	392,571	—	392,571
セグメント間の内部売上高 又は振替高	99	3,940	4,286	8,227	△8,227	—
計	13,540	389,077	11,722	400,799	△8,227	392,571
セグメント利益	63	10,523	780	11,303	△1,447	9,855

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報機器の販売、運送業、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,447百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,474百万円及び固定資産に係る調整額26百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					
	エネルギー事業	食料事業	建設関連事業	自動車関連事業	海外・貿易事業	ペット関連事業
売上高						
外部顧客への売上高	189,860	27,685	44,993	57,720	58,370	10,969
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,969	1,330	62	157	281	0
計	191,830	29,015	45,056	57,878	58,651	10,969
セグメント利益	2,848	75	984	3,513	3,552	309

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ファーマシー事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	14,385	403,986	7,701	411,687	—	411,687
セグメント間の内部売上高 又は振替高	68	3,870	4,167	8,037	△8,037	—
計	14,453	407,856	11,868	419,724	△8,037	411,687
セグメント利益	286	11,571	795	12,367	△1,595	10,772

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報機器の販売、運送業、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,595百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,597百万円及び固定資産に係る調整額2百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。